

# 取扱説明書

## 表札ホンポスト

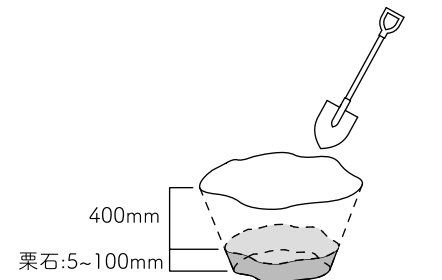
### 【製品情報】

材質	ステンレス
仕上げ	<input type="checkbox"/> ソフトブラッシング仕上げ <input type="checkbox"/> 焼付塗装仕上げ
付属品	固定用フランジ×1、インターホン固定金物×1、M6ねじ(台座用)×4、M4ネジ(インターホン固定用)×2、M3ネジ(固定用金物用)×3本、袋ナット M6×4 / M4×2 / M3×3、インターホン用ボタン×1、固定棒×1
メンテナンス	汚れが付着したら、柔らかい布等で乾拭きしてください。

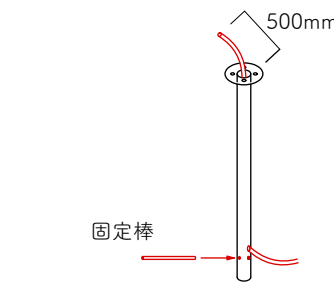
### 【施工前の確認】

- ・支柱の埋め込み工事は専門の技術、道具が必要なためお近くの施工業者さまにご依頼ください。
- ・インターホンの配線工事には専門の資格が必要なためお近くの電気工事業者さまにご依頼ください。
- ・支柱を建てる位置へ内線規程に合ったPF管をあらかじめ埋設してください。
- ・ポスト内のインターホンまで配線できるようにPF管をあらかじめ立ち上げておいてください。(GL+1500mm以上)

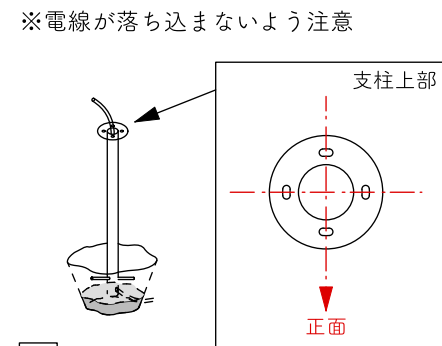
### 【施工方法】



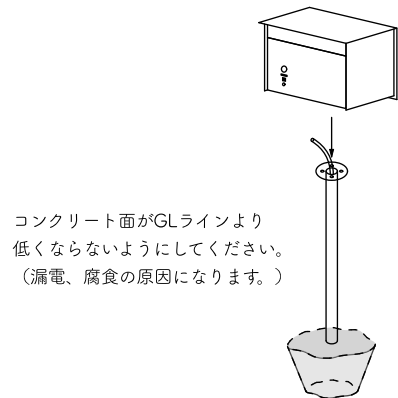
1 埋め込み用の基礎穴を掘ります。支柱内の水溜まり防止のため支柱内に50~100mmの栗石を敷いてください。



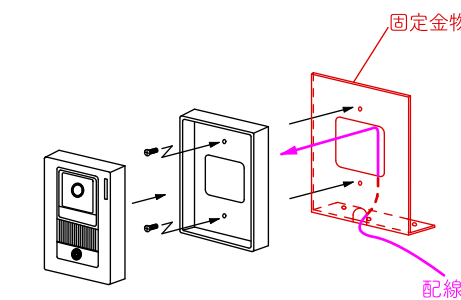
2 配線用穴(12φ)から配線を通し支柱上部+500mmほどまで引き上げます。その後支柱下部の穴に固定棒を差し込みます。



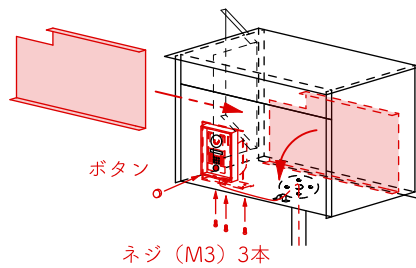
3 基礎穴に支柱を立て、垂直水平高さを調整します。その際ポストを正面に対し支柱頂部が上図の様な穴位置になるよう確認します。



4 コンクリートで埋戻し支柱を固定します。コンクリートが固まったら支柱上部にポストを取り付けます。  
●「表札ホンポスト 上部の組み立て方」参照



5 インターホン本体を固定金物に取り付けた後支柱内を通る電源線と配線します。



6 インターホンの固定金物を内部に入れ下からネジ留めし固定します。その後正面からボタンを貼り付け最後に底板を入れ込み完成です。

### 【注意事項】

- ・金属たわし等で表面をこすると塗装が傷がつくおそれがあります。直接地面に置くと傷がつく恐れがあります。
- ・シンナーやベンジン等揮発性のものを使用しないでください。塗装が剥がれるおそれがあります。
- ・本体にもたれたりぶら下がったりしないでください。けがや破損の原因となります。

bowlpond

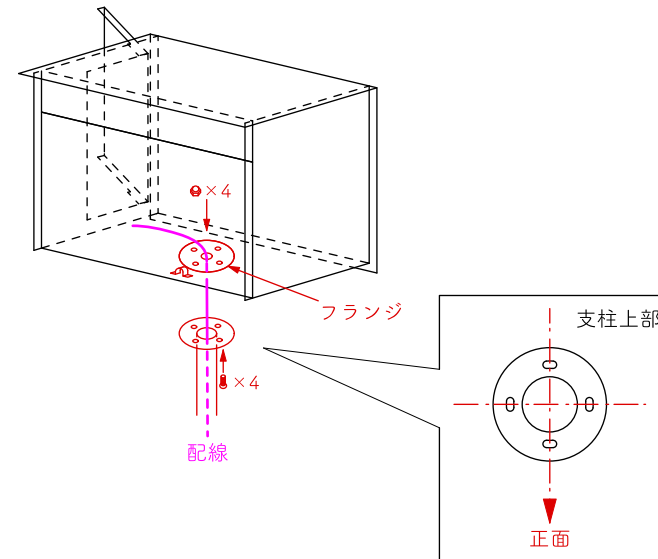
546-0001  
大阪市東住吉区今林2-12-18  
06-7492-4809  
✉:info@bowlpondplatz.com  
🌐:www.bowlpondplatz.com  
📱:@bowlpondplatz

作成日 2023.12.7

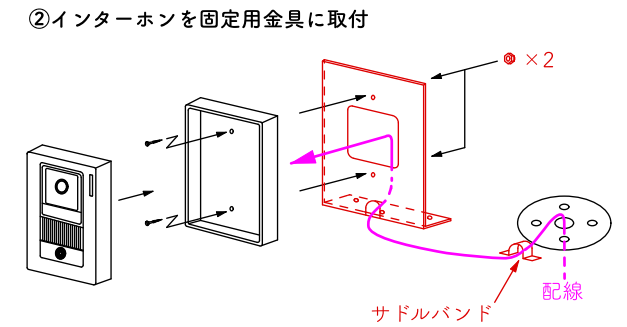
## 表札ホンポスト 上部の組み立て方

側面扉タイプ

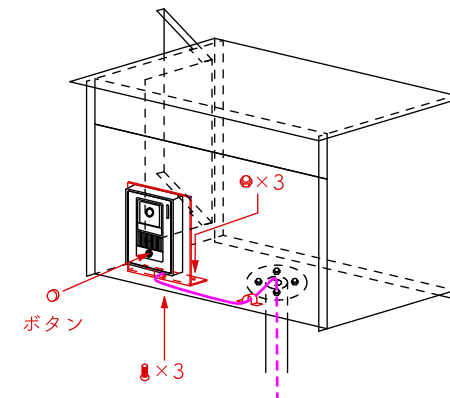
※引っ掻きキズがつくと塗装が剥がれるため取り付けの際はご注意ください。



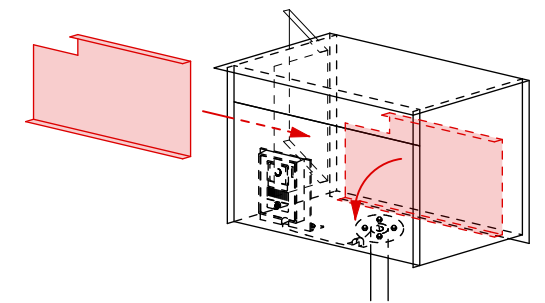
1 フランジをポストの中に入れ、支柱の下からネジ(M6)を締め込みポストを支柱に固定します。固定されたことが確認できたら内側から袋ナットを取り付けます。この時配線が支柱内に落ちないように注意をしてください。



2 インターホンを固定用金具に取付  
支柱から配線を引き出し、サドルバンド、固定用金具の穴に上図のように通してからインターホン本体と接続します。その後インターホンのベース→本体の順に固定用金具に取り付けます



3 インターホンとポストの間隙が1mmほどになるよう調節しながら下からネジ(M3)を締め込み固定用金具を取り付けます。固定されたことが確認できたら内側から袋ナットを取り付け、その後正面からボタンを貼り付けます。



4 底板を立てた状態で取り出し口から入れ込み、内部でゆっくり倒して下に置きます。

### 【メンテナンス方法】

ステンレス製につき錆びにくいですが、表面の付着物を放置しているとらいサビにより茶色く変色する場合がありますのでこまめに表面をメンテナンスするようにしてください。  
汚れ等がついた場合は柔らかな乾いたタオルなどで表面を軽く拭き取ります。  
細かい砂等がついた場合はそのまま拭くと傷が付く恐れがありますので、こすらずに吹き飛ばすようにしてください。

# 取扱説明書

## 表札ホンポスト

背面扉タイプ

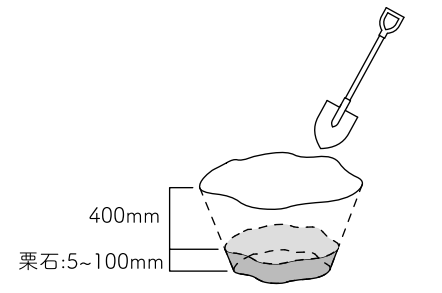
### 【製品情報】

材質	ステンレス
仕上げ	<input type="checkbox"/> ソフトブラッシング仕上げ <input type="checkbox"/> 焼付塗装仕上げ
付属品	固定用フランジ×1、インターホン固定金物×1、M6ねじ(台座用)×4、M4ネジ(インターホン固定用)×2、M3ネジ(固定用金物用)×3本、袋ナット M6×4 / M4×2 / M3×3、インターホン用ボタン×1、固定棒×1
メンテナンス	汚れが付着したら、柔らかい布等で乾拭きしてください。

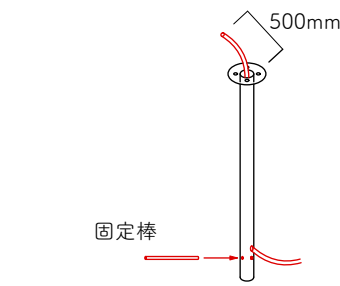
### 【施工前の確認】

- ・支柱の埋め込み工事は専門の技術、道具が必要なためお近くの施工業者さまにご依頼ください。
- ・インターホンの配線工事には専門の資格が必要なためお近くの電気工事業者さまにご依頼ください。
- ・支柱を建てる位置へ内線規程に合ったPF管をあらかじめ埋設してください。
- ・ポスト内のインターホンまで配線できるようにPF管をあらかじめ立ち上げておいてください。(GL+1500mm以上)

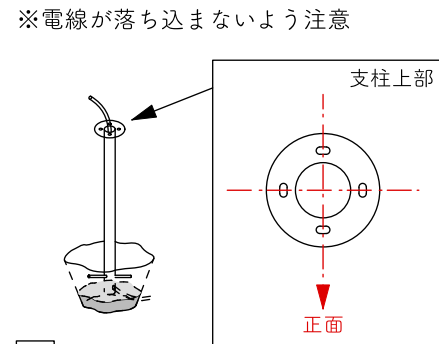
### 【施工方法】



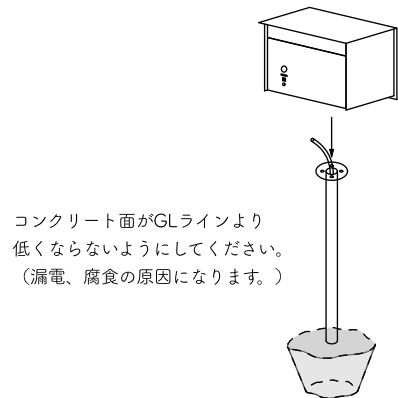
**1**  
埋め込み用の基礎穴を掘ります。支柱内の水溜まり防止のため支柱内に50~100mmの栗石を敷いてください。



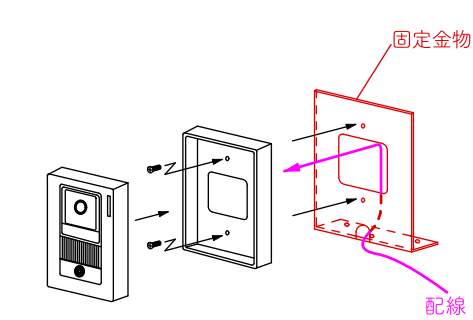
**2**  
配線用穴(12φ)から配線を通し支柱上部+500mmほどまで引き上げます。その後支柱下部の穴に固定棒を差し込みます。



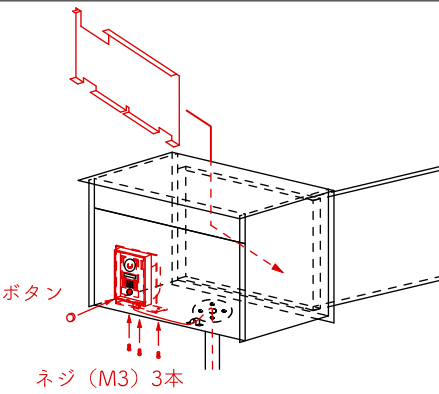
**3**  
基礎穴に支柱を立て、垂直水平高さを調整します。その際ポストを正面に対し支柱頂部が上図の様な穴位置になるよう確認します。



**4**  
コンクリートで埋戻し支柱を固定します。コンクリートが固まったら支柱上部にポストを取り付けます。  
●「表札ホンポスト 上部の組み立て方」参照



**5**  
インターホン本体を固定金物に取り付けた後支柱内を通る電源線と配線します。  
●「表札ホンポスト 上部の組み立て方」参照



**6**  
インターホンの固定金物を内部に入れ下からネジ留めし固定します。その後正面からボタンを貼り付け最後に底板を入れ込み完成です。  
●「表札ホンポスト 上部の組み立て方」参照

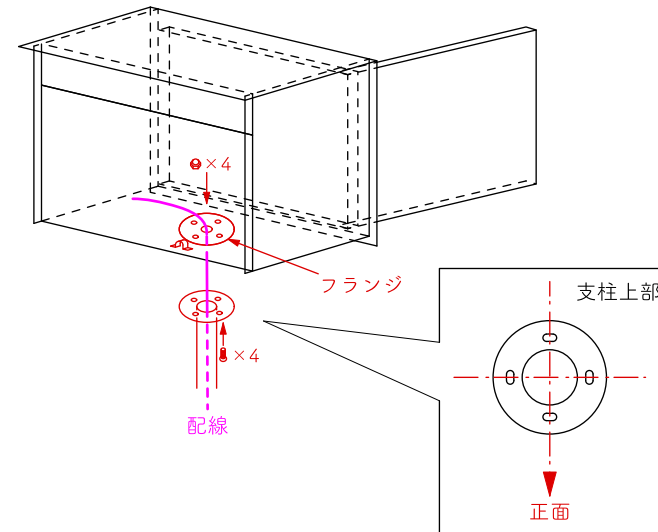
### 【注意事項】

- ・金属たわし等で表面をこすると塗装が傷がつくおそれがあります。
- ・直接地面に置くと傷がつく恐れがあります。
- ・シンナーやベンジン等揮発性のものを使用しないでください。塗装が剥がれるおそれがあります。
- ・本体にもたれたりぶら下がったりしないでください。けがや破損の原因となります。

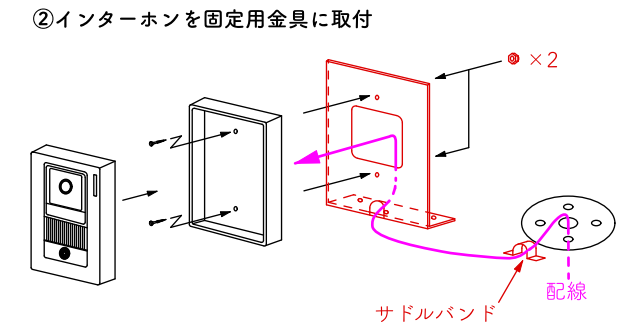
## 表札ホンポスト 上部の組み立て方

背面扉タイプ

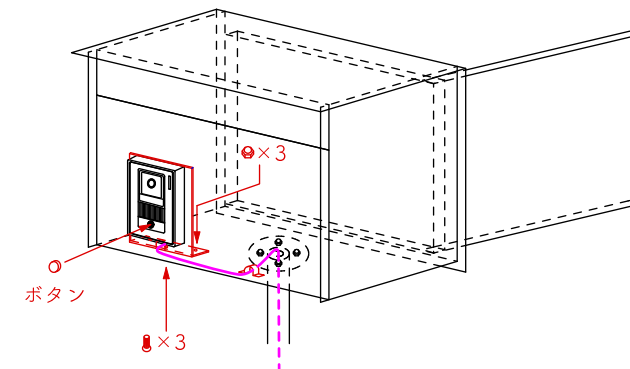
※引っ掻きキズがつくと塗装が剥がれるため取り付けの際はご注意ください。



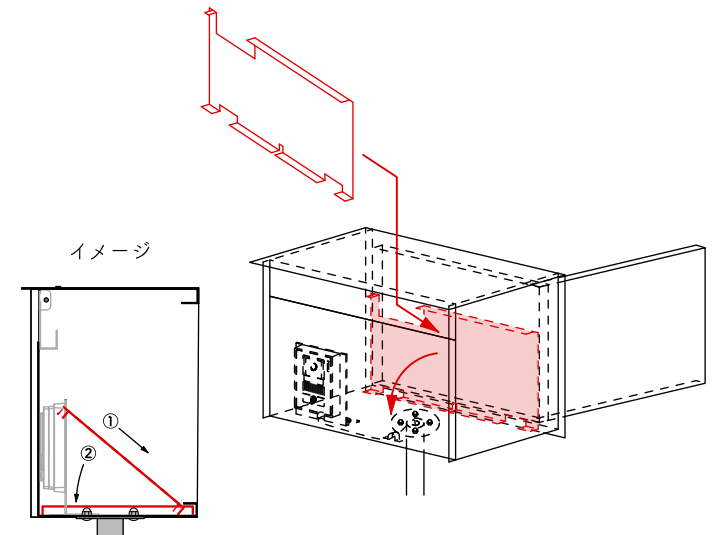
**1**  
フランジをポストの中に入れ、支柱の下からネジ(M6)を締め込みポストを支柱に固定します。固定されたことが確認できたら内側から袋ナットを取り付けます。この時配線が支柱内に落ちないように注意をしてください。



**2**  
支柱から配線を引き出し、サドルバンド、固定用金具の穴に上図のように通してからインターホン本体と接続します。その後インターホンのベース→本体の順に固定用金具に取り付けます



**3**  
インターホンとポストの間隙が1mmほどになるよう調節しながら下からネジ(M3)を締め込み固定用金具を取り付けます。固定されたことが確認できたら内側から袋ナットを取り付け、その後正面からボタンを貼り付けます。



**4**  
底板を図のような向きで取り出し口から入れ込みます。その後内部で底板を上イメージのように手前に滑り込ませながらゆっくり奥へ倒していきます。

### 【メンテナンス方法】

ステンレス製につき錆びにくいですが、表面の付着物を放置しているとらいサビにより茶色く変色する場合がありますのでこまめに表面をメンテナンスするようにしてください。  
汚れ等がついた場合は柔らかな乾いたタオルなどで表面を軽く拭き取ります。  
細かい砂等がついた場合はそのまま拭くと傷が付く恐れがありますので、こすらずに吹き飛ばすようにしてください。